
天使たちのめるへんし

うさぎさん

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

天使たちのめるへんし

【Nコード】

N0689K

【作者名】

うさぎさん

【あらすじ】

おばあさん天使さんが交通事故にあった孫一家を見守り幸せにするお話です。

おばあさん天使さんのお話（前書き）

今の世の中、自分の欲望のために他人をおとしいれる人もいるけれど、こつこつとお話あっていいかも。

おばあさん天使さんのお話

おばあさん天使さんが着いたのは町はずれの教会の前です。
ここにはおばあさん天使さんの孫の女の子が預けられている教会です。

女の子はまだ五歳です。

家族で自動車に乗っている時、酔っぱらい運転の車にぶつかられて、他の家族は入院したのです。

女の子は奇跡的におかあさんがかばったので無傷で助かりました。
ここは外国で親戚もいつもにすることが出来ません。

お見舞いには来て連れて帰ろうとしましたがなぜか女の子はここを離れようとしません。

家族がこの町の病院にいてることを感じるのでしょうか。

まるで自分がこの国を離れてしまうと家族がどこかに行ってしまうと思うのでしょうか。

大好きなおかあさんおとうさんおにちゃんおねいちゃん誰かがいなくなる気がするのです。

何時もいた優しい家族がそばに誰もいない、悲しくて淋しくてしかたがありません。

そんな女の子を神さまは心配して大好きな半年前に他界したおばあさん天使さんをそばで見守らせることにしたのでした。

朝目をさましても優しいおかあさんのいつもの優しい声は聞こえないのです。

（おかあさんどこにいるの）と女の子は悲しくて泣きます。
そんな女の子をおばあさん天使さんはとても心配です。

いつも元気なニコニコしていた女の子をおばあさん天使さんはよく知っていました。

（早く皆が退院して帰って来るとよいね。）

おばあさん天使さんは祈るのです。

おばあさん天使さんは女の子の夢の中で楽しい時間を生きている
時みたいに過ごします。

ブランコに乗ったり滑り台で遊んだりします。

だんだん女の子は元氣を取り戻し少しずついつものニコニコが女
の子に戻って来ました。

ここへ来て１ヶ月も過ぎたでしょうか、同じようにこの教会に暮
らしている子達ととけこんでいました。

泣き虫だった女の子はもういません。

そこへ病院からおかあさんの意識が戻った連絡が入りました。

女の子は教会のシスターに連れられおかあさんに会いに行きます。
教会の庭に咲く小さな花束を持って。

見えませんが大好きなおばあさん天使さんも一緒です。

大好きなおかあさんに会えるそれは飛び上がるほど嬉しいのです
が、おとうさんやおにいちゃんおねいちゃんはどうしているのだし
ょうか。

女の子は必死で祈ります。

病室のドアの前です。

そつとドアを開けます。

女の子を見て白い包帯の優しいおかあさんの瞳から涙が溢れます。
おかあさんは意識が戻った時、家族のことを聞いたそうです。

女の子が無傷であることを聞き、本当に喜んだそうです。

他の家族はまだ意識がありません。

でも女の子は他の家族に窓越し面会することに決めました。

窓越しとおさんおにいちゃんおねえちゃんが管いっぱいつけて
眠っています。

女の子は祈ります。

どうかみんなを助けて下さい。

いっぱい祈りました。

すると神様に願いが通じたのです。

いつも遊んでいるお姉ちゃんが目を開けたのでした。
女の子を見ました。

口元が微かに動き女の子の名前をよびました。
続けてお父さんが目を開けたのです。

奇跡が起きたのです！

そこにいた看護師さんが機器を見て驚いています。
もう今にも動かなくなりそうな針が元気に動き始めたからです。
実はもうすぐ命の炎が消える、そこにいるスタッフは皆誰もがそう思っていました。

それが目をあけたのですから、皆針に集中しています。
続けてお兄ちゃんの機器の針も大きく振れ始めたものですからからスタッフ達も何が起きたのか理解できないまま、そこはまるで時間が止まっていました。

それはおばあさん天使さんが急いで天国に戻って、神様に心をこめてお願いしたからなのでした。

ほんとは神様の所にもうすぐ三人とも召される運命だったのです。
でも孫のかわいい毎日の一生懸命のお祈りとけなげな毎日におばあさん天使さんどころか神様の心までも動かしたのでした。

やがて春の暖かい陽射しの頃、退院し故郷に帰って行きました。

女の子がいた教会の庭には女の子が家族の命を思い蒔いた堇の黄色の花が可憐に咲いていました。

天国に帰ったおばあさん天使さんは孫の女の子をいつまでも優しく見守っていました。

おばあさん天使さんのお話（後書き）

後一人の天使さんで完結！
よくやったものだ

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0689k/>

天使たちのめるへんし

2010年12月4日23時54分発行